

一般質問通告書 12月議会

令和4年12月7日

番号	件名	氏名
1	まちづくりと上関原発計画の現状について	山戸 孝
2	学校におけるタブレットの活用状況と保護者の負担について	山戸 孝
3	新町長に今後の町の展望について	海下 竜一郎
4	上関原子力発電所の今後の見通しについて	柏田 真一
5	上関原子力発電所建設計画と今後目指すまちづくりについて	清水 康博
6	第5次上関町総合計画について	古泉 直紀
7	人口減少施策とひとづくりについて	秋山 鈴明

6人7件

定例会一般質問通告書

令和4年第4回上関町議会定例会（12月）

◆質問者1 山戸 孝	
質問事項	質問要旨
1. まちづくりと上関原発計画の現状について	<p>①岸田総理の原発新增設検討の指示により、上関原発計画がすぐに動き出す内容のものではないと認識しているが、町長の考えは。</p> <p>②町長就任後、中国電力から上関原発計画の今後の見通し等の報告はあったか。また、次世代型原子炉の上関への導入についての話はあったか。</p> <p>③中国電力が反対派住民を訴えたことについて、どのように評価するか。</p> <p>④まちづくりにおいて、上関を取り巻く海をはじめ自然や動植物、町並み、歴史文化など手元にあるものをいかに活かしていくか、という視点は今後も重要だと考えるが町長の考えは。</p>
2. 学校におけるタブレットの活用状況と保護者の負担について	<p>GIGA スクール構想により全児童生徒へのタブレット貸与が始まって1年以上経つが、アンケート調査ではタブレット活用に関して児童生徒と教職員の評価は高く保護者からは低いという結果が出た。タブレット活用や児童生徒の習熟状況が保護者に伝わりやすい工夫をしていくべきではないか。また、Wi-Fi 導入の経済的負担が大きい家庭への負担軽減策はないか。</p>

◆質問者2 海下 竜一郎	
質問事項	質問要旨
新町長に今後の町の展望について	一般財源の多くを占める普通交付税は、現時点で4.1%減少し、来年度はさらに下げ率が大きくなる見解である。町は、現在まで自主財源の確保に向けて、若者定住対策・風力発電事業などに取り組み自主財源の確保の一助となっているが、厳しい状況が続いている。今後、新町長の指揮の下で町づくりを進めていくことになるが、以前からの大きな課題である人口減少・自主財源の確保についての町長の考えは。
◆質問者3 柏田 真一	
質問事項	質問要旨
上関原子力発電所の今後の見通しについて	岸田首相は、エネルギー政策遅滞の解消は急務であるとして原子力発電所の再稼働や運転期間延長、新たな安全メカニズムを組み込んだ次世代革新炉の開発などについて、具体的な結論が出せるよう検討を加速してもらいたいと発言した。国の方でも様々な議論がされていると報道があるが、上関町に計画されている原子力発電所は、今、どういう見込みなのか、事業者にもどのように聞かれているのか。仮に聞かれていないのなら、事業者を確認していただきたい。
◆質問者4 清水 康博	
質問事項	質問要旨
原子力発電所建設計画と今後目指すまちづくりについて	10月の町長選挙で、上関原発を進めていく旨の発言を街頭演説等でしていたが、上関町にある産業の維持・継承、町の魅力を活かした新たな産業をいかにして生み出していくかが、原発財源に比べるとはるかに少ないが、目指すところではないか。また、仮に原発が稼働され、毎年1機あたり約20数億円の交付金等が入ると聞いているが、将来減少が予想される町の人口に対して、これほどの財源が本当に必要なのか。また、町内にはまだまだ原発に根強い反対の声がある。原発に対して不安を持つ住民の声に耳を傾け、この町に原発を建ててよいものか、今一度考えていただきたい。

◆質問者 5 古泉 直紀	
質問事項	質問要旨
第5次上関町総合計画について	<p>①「第5次上関町総合計画」のこれまでの取り組み状況、及びその取り組み状況をどのように評価しているか。</p> <p>②エネルギー価格の高騰等により様々な物価上昇が生じており、町財政もさらに厳しくなることが予測される中において、今後、「第5次上関町総合計画」に掲げる施策について、どのように優先順位をつけて取り組むのか。</p>
◆質問者 6 秋山 鈴明	
質問事項	質問要旨
人口減少施策とひとづくりについて	<p>①これからの任期4年間の間に、定住対策や産業観光振興などこれまでとは刷新された施策を描いているのであれば、出来る限り具体的に伺いたい。</p> <p>②「地域を愛する人づくり」は時間のかかることだが、取り組むべきという考えについて、町長の考えは。すでに本町でも魅力発信等しているが、それが住民の自信につながっているという手応えはあるのか。</p> <p>③近年、上関を移住先に選び定着している人たちが確かにいる。そういった人々にとって本町のどんなものが魅力や価値なのか、町長の考えは。</p>